

# 帯広川西ICフードテックパーク

## <企業立地ガイド>

先端技術で拓く、食の未来  
地球にも人にも優しい、明日の食を創造します

> 土地購入・検討のご相談窓口はコチラ  
< 帯広川西ICフードテックパーク事業組合 >  
☎ 0155-21-7500  
<https://obihiroic.jp/>



> 企業立地に関する補助制度情報はコチラ  
< 帯広市経済部経済企画課工業振興係 >  
☎ 0155-65-4167  
<https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/sangyo/kyogyoshien/ritchi/1005798.html>



## 川西ICフードテックパークについて

十勝の中央部帯広市市街地より南に約8.5kmに位置する団地です。

帯広・広尾自動車道川西ICに隣接しており、道東の物流拠点を整備するとともに、道東の農産物の価値向上に資する企業の立地を目指し、地域産業の振興に寄与します。

### 開発区域



### 企業にとって不可欠な産業インフラを安定供給

#### 用水



下記のとおり

#### 電気



変電所から1km以内  
公称電力66,000V

#### ガス



プロパンガス

#### 通信



光回線 引込可能

上水道：帯広市公共水道75mm管より給水可能

地下水：各事業者負担にて取水（近傍事例揚水量204L/min）

下水道：帯広市公共下水道PRPリブ管φ200mmより汚水柵に接続可

### 分譲価格

50,000円/坪

# 帯広川西ICフードテックパークの位置図①

## 陸・海・空の充実した交通ネットワークが魅力

### 帯広川西ICフードテックパーク

#### 自動車

川西IC	隣接
帯広駅	約8.5km (約15分)
JR帯広貨物駅	約12km (約25分)
とかち帯広空港	約17km (約20分)
十勝港	約75km (約60分)
札幌	約200km (約2時45分)
釧路	約130km (約2時10分)
北見	約170km (約2時間30分)



### 空路（とかち帯広空港）



とかち帯広空港まで車で約20分

- ・東京(羽田空港)ーとかち帯広空港  
約1時間40分

### 海路（各港湾）



高速道路や国道を利用して以下の港湾にアクセス可能

- ・十勝港 : 約75km (約60分)
- ・釧路港 : 約141km (約2時間10分)
- ・苫小牧港 : 約193km (約2時間30分)

## 道路（各市へのアクセス）



### <一般国道まで>

- ・国道38号（札幌・旭川、釧路方面）：約10km
- ・国道241号（北見・足寄・音更方面）：約10km
- ・国道236号（広尾・中札内方面）：隣接

### <都市間バス>

- ・札幌—帯広（約210km）約3時間25~55分
- ・新千歳空港—帯広（約195km）約2時間30~40分
- ・旭川—帯広（約180km）約3時間45分~4時間
- ・釧路空港—帯広（約110km）約2時間

## 鉄路（帯広貨物駅）



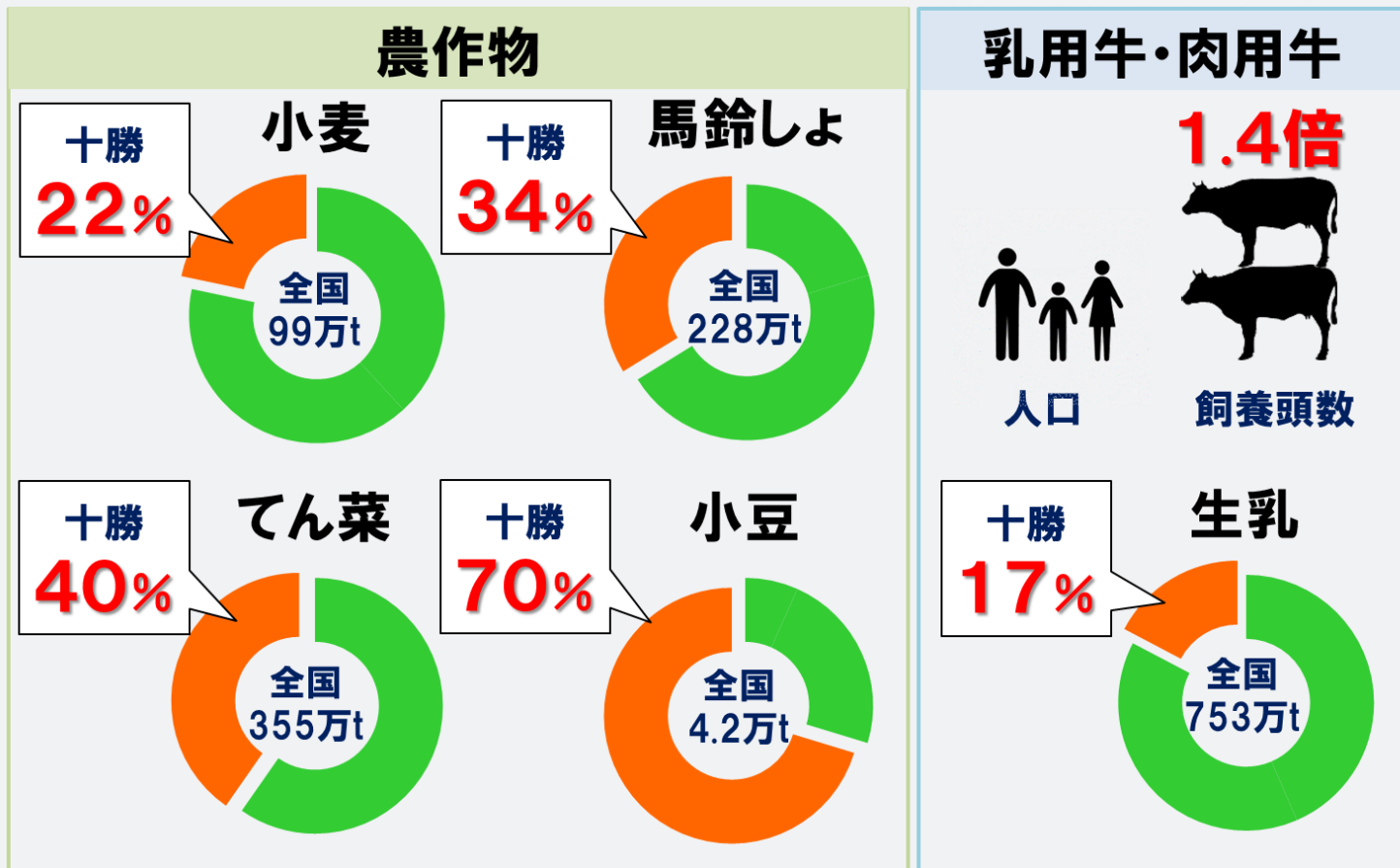
### <所要時間>

- ・札幌—帯広駅 約2時間30分
- ・釧路—帯広駅 約1時間30分

### <大型コンテナの取扱い>

- ・20ftコンテナ

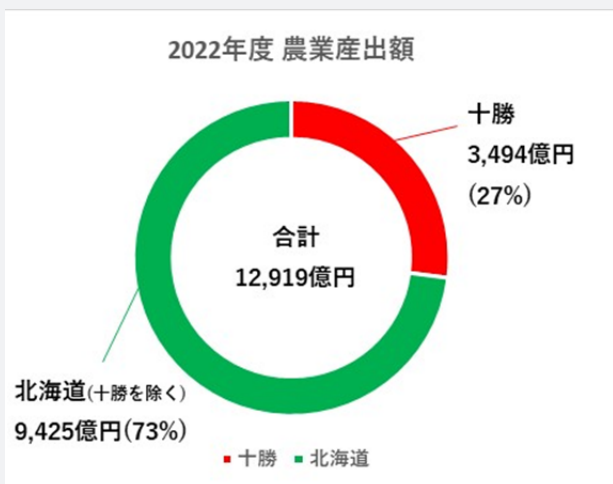
## 十勝の生産量



- ・ 主要な農畜産物の生産量は国内トップシェア
- ・ 量と質の両面で安定した農畜産品の供給が可能
- ・ 酪農も盛んであり人口より牛の方が多い
- ・ 生乳の生産量は、全国の20%弱のシェア

出典：十勝総合振興局「十勝の農業2023」

## 日本を代表する食糧基地



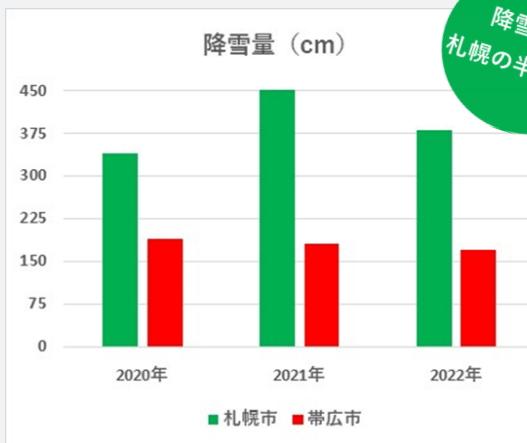
- ・ 十勝の食料自給率は1,212%
- ・ 年間約400万人分の食料を生産
- ・ 北海道の1/4の農業産出額を誇る



注：十勝の数値は農協取扱高

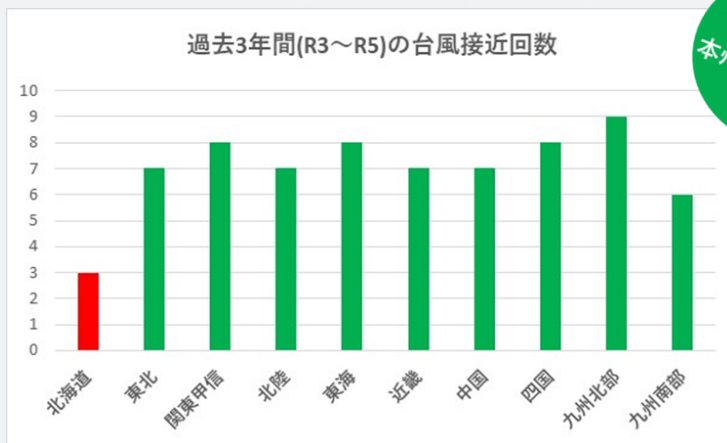
製造・加工拠点としての潜在力を秘めている

少ない降雪量



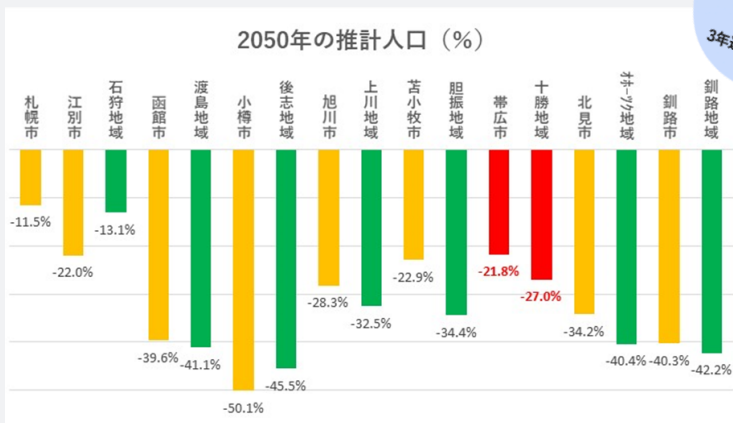
降雪量は札幌の半分以下

低い災害リスク



台風被害は本州の半分以下

人材確保にも最適で住みやすい環境



東洋経済新報社  
2023年版・北海道  
住みよさ  
ランキング  
3年連続 1位

帯広圏の人口：249,003人 (R5.12)  
十勝の人口：328,861人 (R5.1)

帯広市は道内主要都市の中では、千歳市・札幌市に次いで減少率が低い

充実した医療環境



「地域医療支援病院」に承認された「帯広厚生病院」をはじめ、「帯広市休日夜間緊急センター」など多くの医療機関が充実



安心の教育環境



小・中・高・専門学校

約40の小中学校をはじめ、特化した教育を行う農業・商業・工業高校、専門学校や高等技術専門学院があり、特定分野の専門知識や技能を身に付ける教育が行われています。

帯広畜産大学

国立大学法人北海道国立大学機構が運営する国立大学唯一の畜産系単科大学があります。

## 帯広市企業立地促進条例（助成）

特定の業種が施設等を新設または増設し、投資額や雇用増数の要件を満たした場合、投資額や雇用増に対する助成及び固定資産税の免除が受けられます。

対象施設	要件		助成額	限度額
<ul style="list-style-type: none"> <li>物の製造又は加工を行う施設</li> <li>リサイクル工場</li> <li>新エネルギー電気供給施設</li> <li>植物工場</li> <li>物流関連施設</li> </ul>	新設	投資額 2千万円超 雇用増 5人以上	投資額の8% 10万円(15万円)/人	投資額分 1億5千万円
		投資額 2千万円超 (借主の雇用増5人以上)	投資額の4% (貸主へ助成)	雇用増分 5千万円
	増設	投資額 2千万円超 雇用増 2人以上	投資額の6% 10万円(15万円)/人	投資額分 1億円
		投資額 2千万円超 雇用増 現状維持以上	投資額の4% 再申請期間の条件あり	雇用増分 5千万円
	加算	食産業振興加算	該当投資額の2%	新設・増設限度額と合算
		生産性向上加算 (増設のみ)	該当投資額の1%	
		デジタル化推進加算	当該投資額の1%	
	緑化	脱炭素社会推進加算	該当投資額の20%	1千万円
		工場立地法第6条 届出工場(特定工場)	緑地及び環境施設 1,500円/m <sup>2</sup>	5百万円

※上記表の他にも特定事業所、試験研究機関に対する助成も行っています

## 帯広市企業立地促進条例（固定資産税免除）

対象業種	要件	免除される固定資産税
・製造業	投資額 2千万円超	3年間免除 ・建物 ・その他附属設備（冷暖房設備、照明設備照明設備、通風設備、昇降機等） ・構築物（ドック、橋、岸壁、軌道、貯水池、坑道、煙突等） ・土地（着工日前1年以内に取得したもの） ・機械、装置その他の償却資産
・卸売業のうち各種商品卸売業、 飲食料品卸売業、竹材・木材卸売業、 農業用機械器具卸売業、 家具・建具卸売業	投資額 5千万円超	
・植物工場	投資額 1億円超	

※別表に定める業種については、下記URL「企業立地の手引き」の3ページ目をご確認ください  
 > 帯広市企業立地促進条例の手引き

[https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/005/798/r6tebiki4.pdf](https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/005/798/r6tebiki4.pdf)



## 北海道産業振興条例

特定の業種が施設等を新設または増設し、投資額や雇用増数の要件を満たした場合、投資額や雇用増に対する助成が受けられます。

> 詳細はコチラ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ssg/sgr/yugu/sinhojoseido.html>





*Welcome to OBIHIRO*

